

## 上智大学連携講座「つくる I ～安全と安心」

日本航空株式会社 常勤監査役  
田村 亮

### プロフィール

1988年3月 上智大学 理工学部 機械工学科 卒業

同年4月 日本航空株式会社 入社

整備部門を主に勤務 一等航空整備士（B747、B747-400、MD11）

執行役員 調達本部長

取締役常務執行役員 整備本部長 / JALエンジニアリング代表取締役社長

常勤監査役

10月16日、上智大学2号館508教室において、講義を担当させていただきました。多くの学生さんが聴講くださり、たくさんの質問も頂き、幸せな時間でありました。

当日は、JALにおける安全・安心への想いとその具体的な取り組みについて、お話させていただきました。



私たちが教訓を得た2つの事例、

- ・1985年 御巣鷹山事故 ～ ゆるぎない安全（安全とは、命を守ること）
- ・2010年 経営破綻 ～ 採算性

パイロット無次世代エアモビリティとの協業

から、「安全と採算性の両立」という目標への挑戦が始まった。安全だけではなく安心の提供も加えて検討。結果、「圧倒的な機材品質」の実現を最終的なターゲットに設定。故障を「起こさない」、「見せない」品質の実現に向け、故障や不具合を予測し、未然に防ぐ”予測整備”を中心に据えた取り組みを展開していることを説明しました。

具体的な取り組みとして、

- － 膨大なフライトデータの解析による故障予測アルゴリズム開発（AI活用）
- － エンジン内視鏡検査への画像解析技術導入による損傷の自動認識と進行予測
- － 量子コンピュータを活用した運航整備計画の自動化・最適化アプリ開発
- － 各種他社技術やスタートアップとの連携による革新的デジタル技術の実装

といった事例を紹介させていただきました。

また、この知見を他産業へ広げ、安全・安心の世界を創る夢も語りました。

講義後のQAセッションでは、学生の皆さんから、実際の運航や整備現場での具体的事例に関するものが多く、現場感覚に即したリアルな知見を求める傾向が強いと感じました。

近年、航空業界、航空技術業界は人気がありません。土日休みじゃない、夜勤がある、転勤がある、会社入ってから試験勉強がある・・・等々、現代の若者が避けたいポイント満載な職場のようです。こんなにエキサイティングな業界なのに・・・悲しい。本講座で興味を持っていただき、この世界にチャレンジしてくれる若者が増えることを期待しております。

このような機会を与えてくださった、上智大学理工学部同窓会には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



入社式後、新しい仲間と